

## イヌマキ林の薬剤土壌散布試験

令和7年9月9日(火)

令和7年9月9日(火)、国頭村辺野喜の県営林内のイヌマキ造林地において、土壌散布型の薬剤の実施試験を行った。

針葉樹でマキ科に属するイヌマキは、本県では一級品の材として扱われているが、害虫であるキオビエダシャクの食害があり、薬剤散布による防除対策を実施しない場合、広範囲が枯損してしまう。

これまで、その防除対策としてロックオン等の薬剤を樹上に散布してきたが、(1)悪天候時に散布できないこと、(2)動力機やタンク等の用具が必要でこまめに散布することができないこと、(3)同一薬剤を継続して使用することによってキオビエダシャクに薬剤耐性がつく可能性があること等の課題があった。

今回、(公社)沖縄県緑化推進委員会の協力のもと、本造林地で初使用となる土壌散布型の薬剤をイヌマキ4本に試験的に散布し、3カ月間、効果を観察することとした。

本造林地のイヌマキは、将来の首里城修復等に活用することを目的に育林しているため、大きな効果が得られることを期待したい。



散布対象木の選定作業



散布状況①



散布状況②